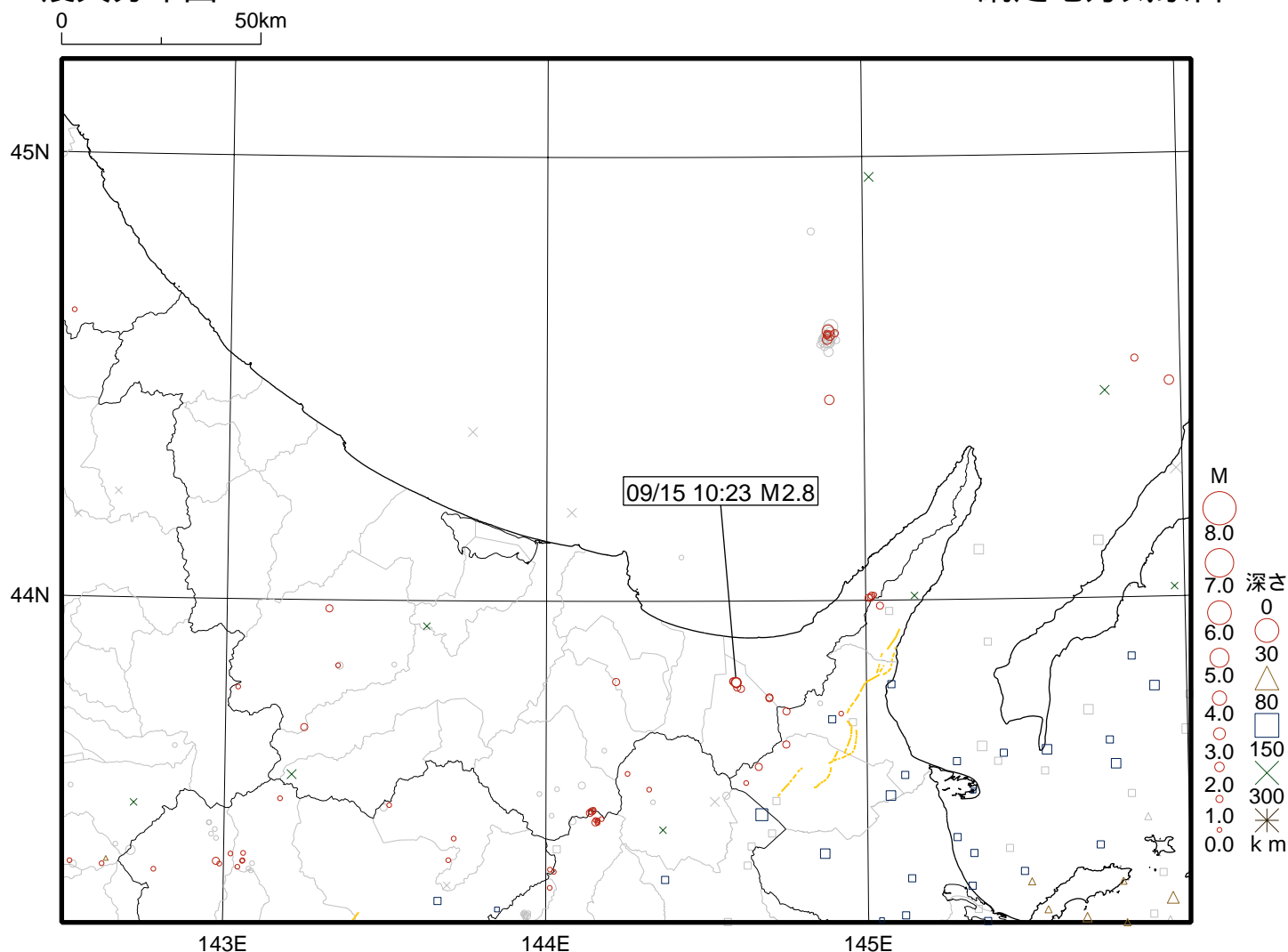


網走・北見・紋別地方の地震活動図

2021年9月1日～2021年9月30日

震央分布図

網走地方気象台



地震概況 (2021年9月)

この期間、網走・北見・紋別地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は3回(8月は2回)でした(「網走・北見・紋別地方で震度1以上を観測した地震の表」参照)。

15日10時23分、網走地方の地震(M2.8、深さ8km)により、清里町で震度1を観測しました。

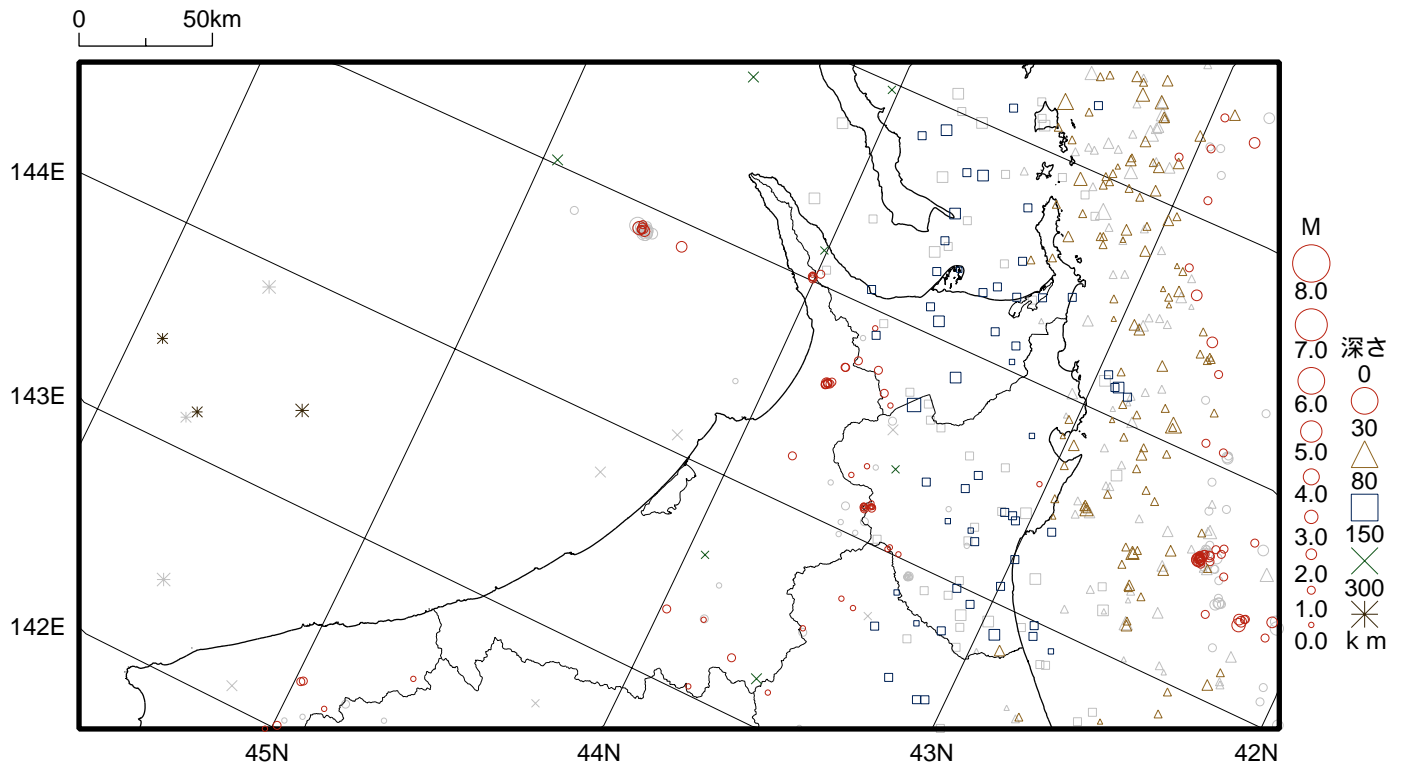
22日04時33分、根室半島南東沖の地震(M4.1、深さ67km、震央分布図の範囲外)により、斜里町で震度1を観測しました。

29日17時37分、日本海中部の地震(M6.1、深さ394km、震央分布図の範囲外)により、美幌町、津別町で震度1を観測しました。

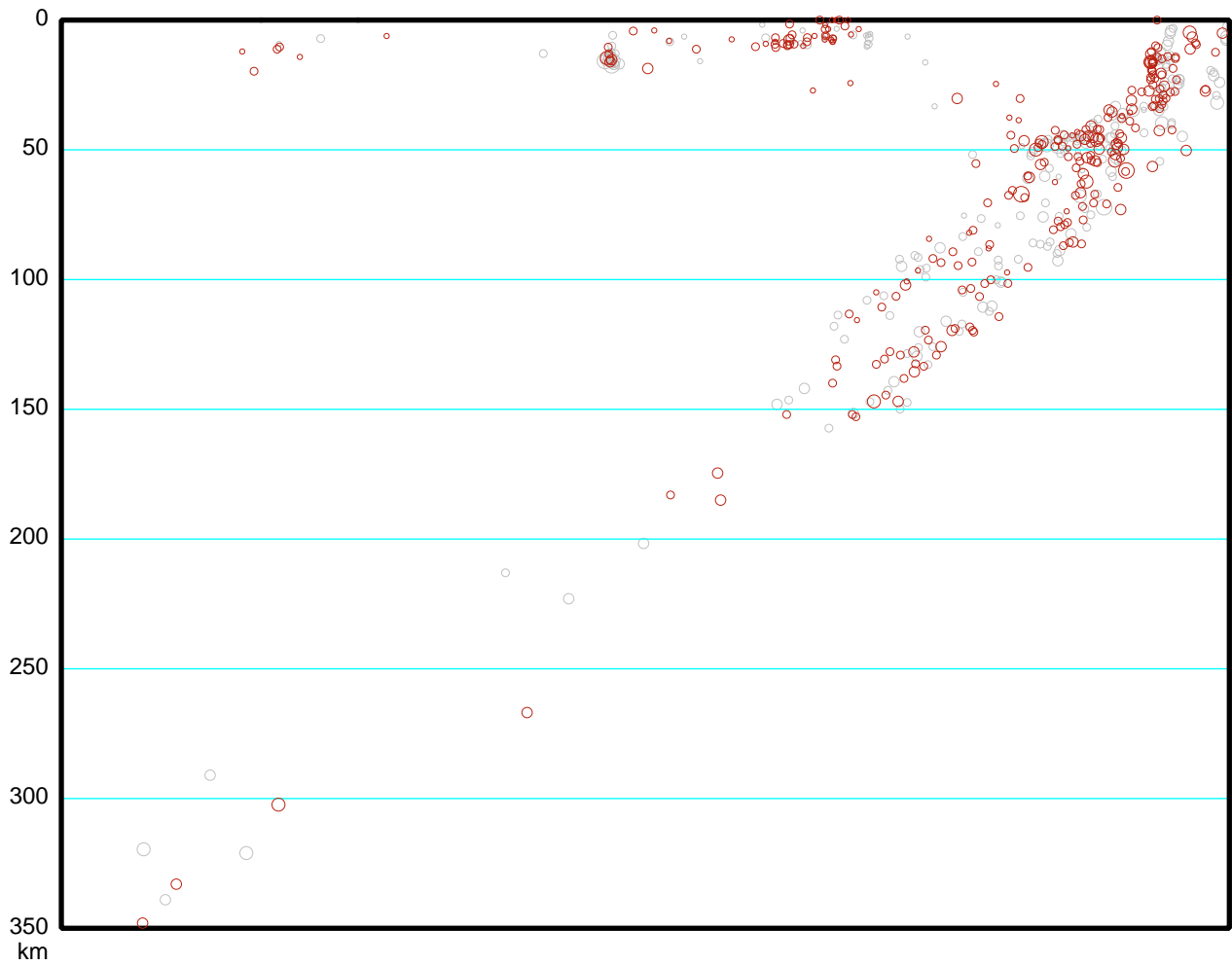
この活動図は、網走地方気象台のホームページ(<https://www.data.jma.go.jp/abashiri/>)に掲載しています。
この資料に関する問い合わせ先 網走地方気象台 TEL 0152-43-4349

2021年9月1日 ~ 2021年9月30日

震央分布図



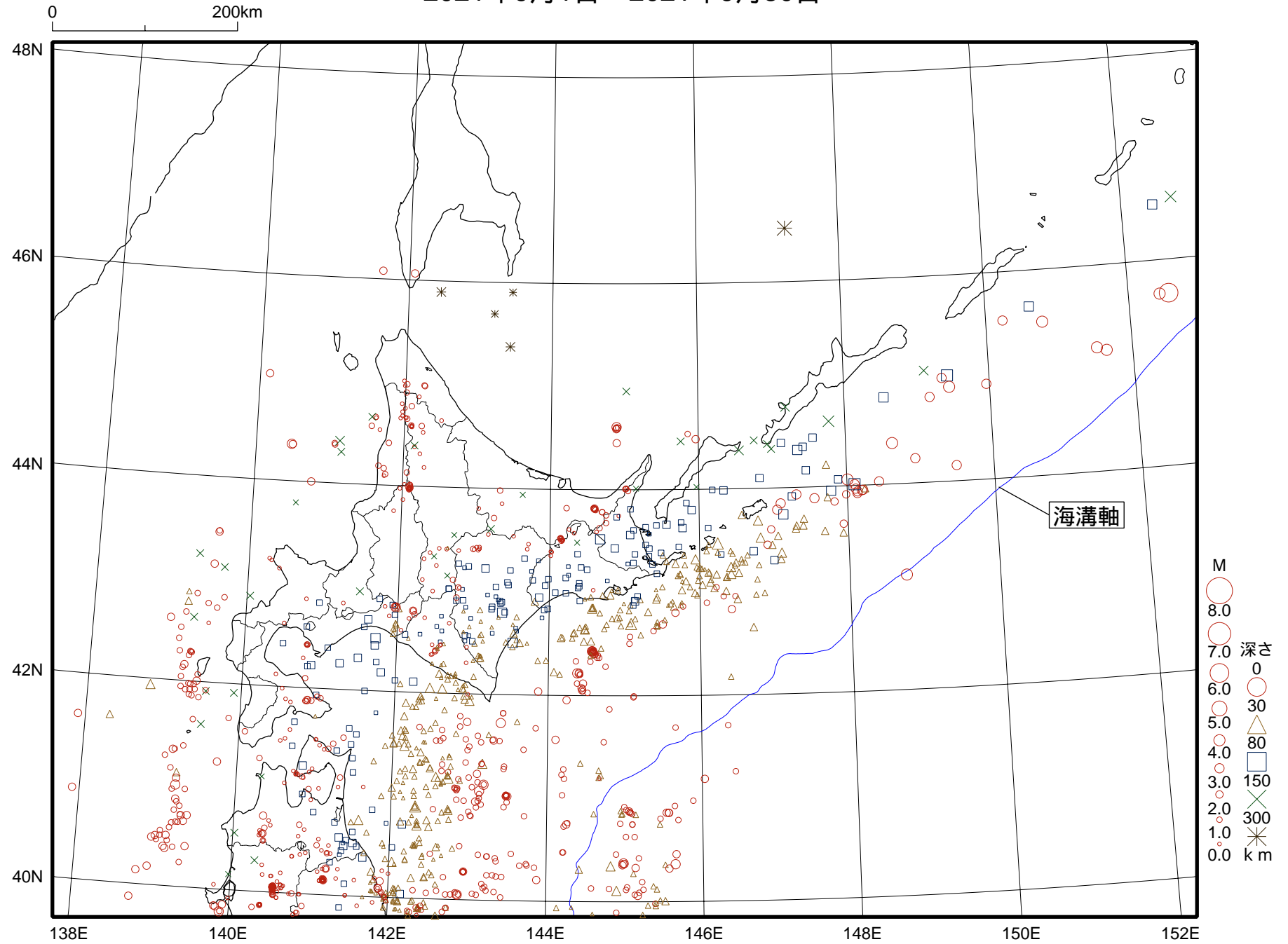
断面図



北海道の地震活動図

2021年9月1日 ~ 2021年9月30日

震央分布図



網走・北見・紋別地方で震度1以上を観測した地震の表（2021年9月）

年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯（N）	東経（E）	深さ（km）	規模（M）
2021年 9月15日 網走・北見・紋別地方	10時23分 震度1	網走地方 清里町羽衣町* (10)	43° 49.0 N	144° 35.5 E	8 km	M2.8
2021年 9月22日 網走・北見・紋別地方	04時33分 震度1	根室半島南東沖 斜里町ウトロ香川* (05)	43° 28.3 N	146° 14.6 E	67 km	M4.1
2021年 9月29日 網走・北見・紋別地方	17時37分 震度1	日本海中部 美幌町東3条(06) 津別町幸町* (08)	38° 47.8 N	135° 39.0 E	394 km	M6.1

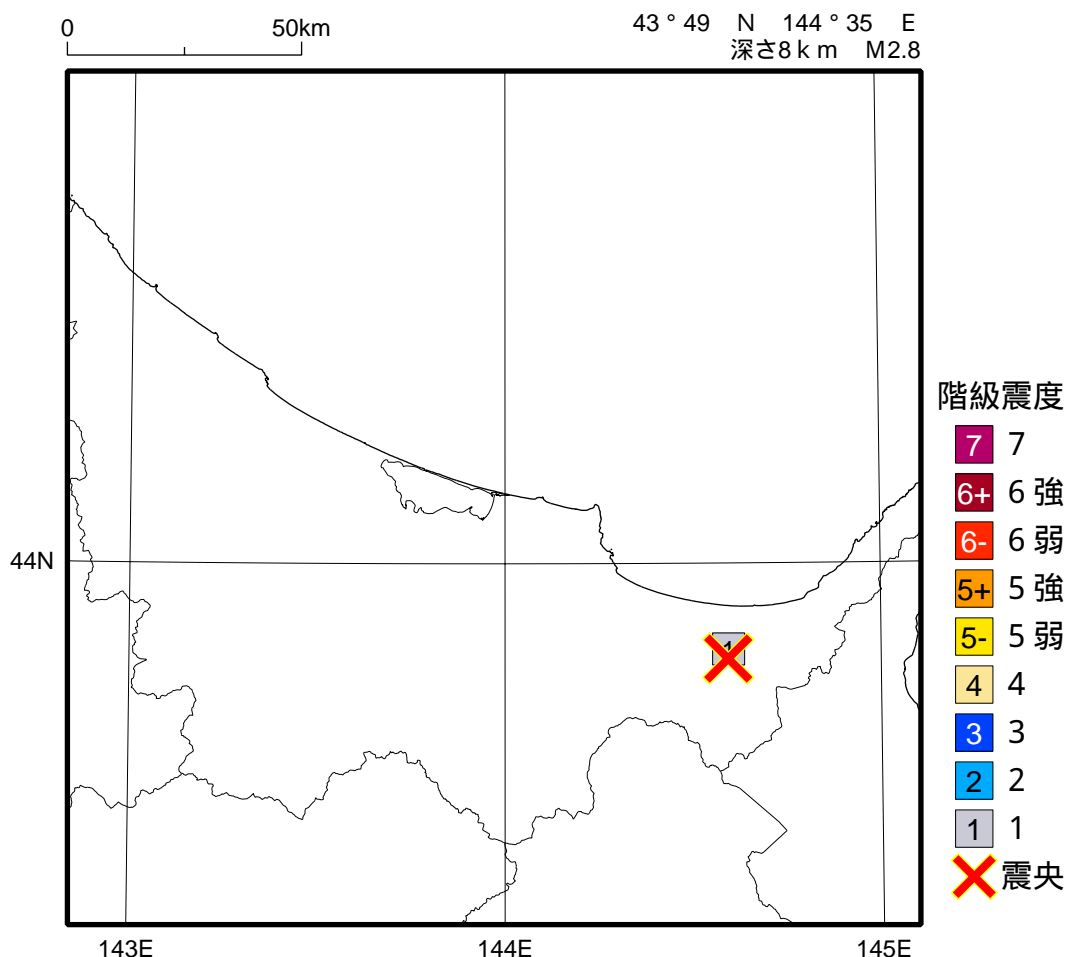
*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

()内の数値は0.1単位の詳細な震度（計測震度）の小数点を省略して表しています。

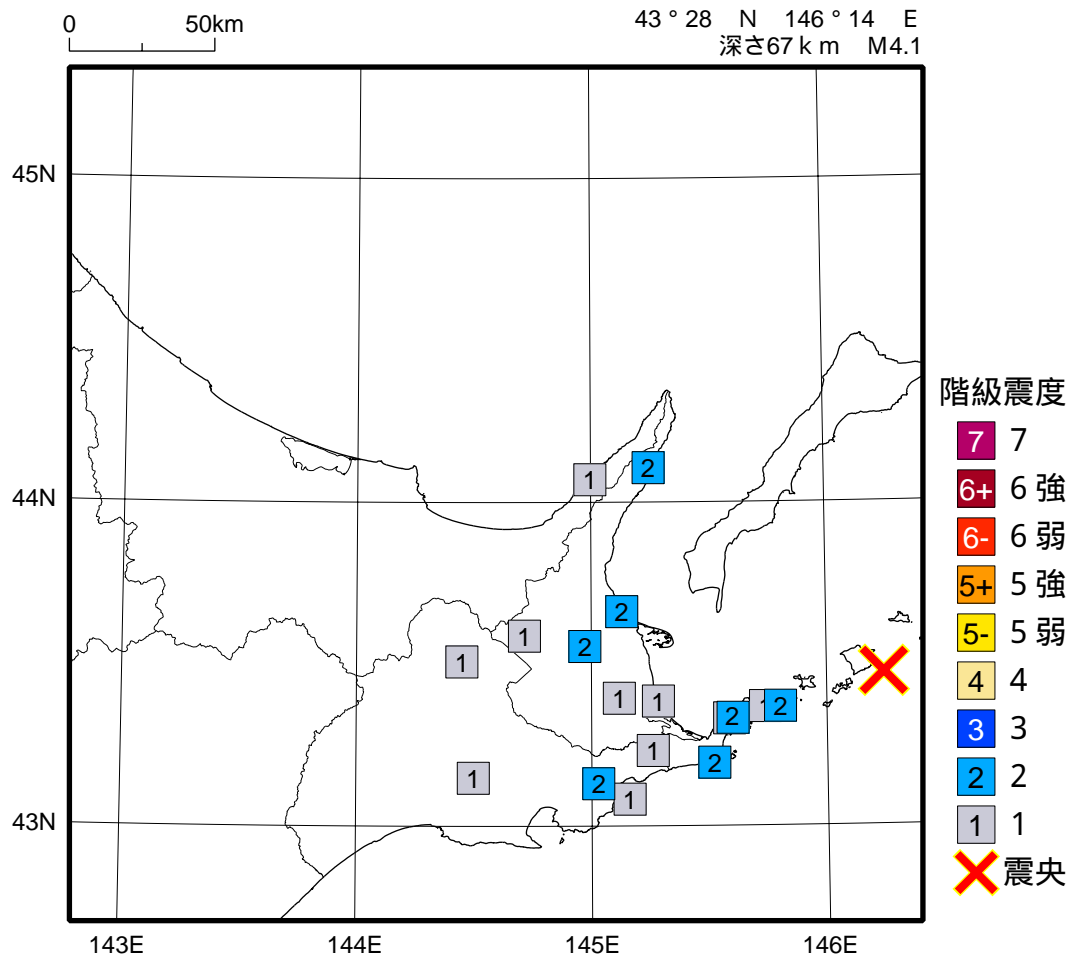
計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

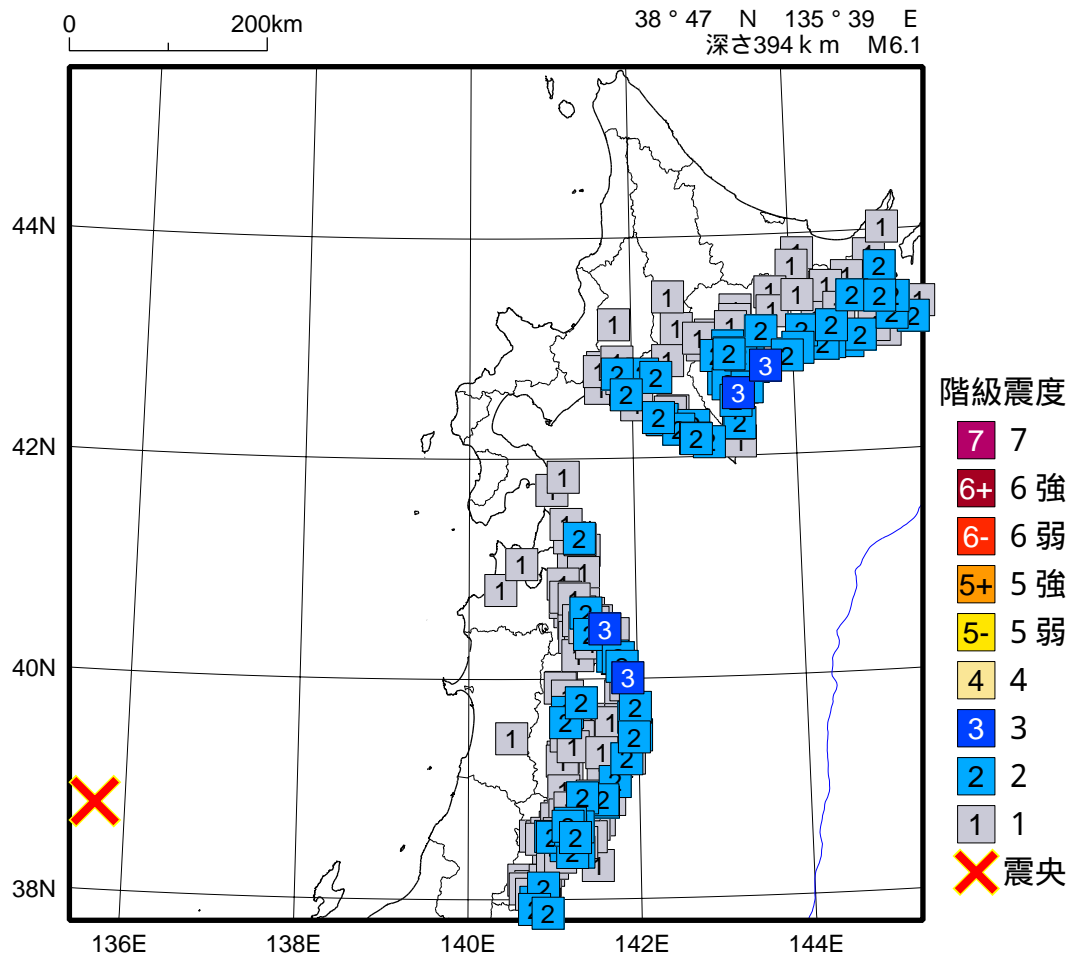
2021年 9月15日10時23分 網走地方の地震の震度分布図



2021年 9月22日04時33分 根室半島南東沖の地震の震度分布図



2021年 9月29日17時37分 日本海中部の地震の震度分布図



本資料の利用にあたって

- 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- 次の期間の地震について、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以外の期間と比較して微小な地震の震源決定数の変化が見られることがあります。
2020年9月1日から10月23日まで、 2021年1月9日から3月7日まで、 2021年4月19日以降
- 2020年9月以降の地震は、それ以前と比較して、処理方法の違い等により、震源の見かけ上の位置や震源決定数に変化が見られることがあります。
- 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

【防災メモ】

～津波防災の日・世界津波の日～

平成23年（2011年）3月11日に発生した東日本大震災を教訓として、同年6月に津波対策を総合的かつ効果的に推進することを目的とした「津波対策の推進に関する法律」が制定されました。その中で、国民の間に広く津波対策についての理解と関心を深めるために、のちに「稲むらの火」のモデルにもなった1854年の安政南海地震による大津波が紀伊半島などを襲った11月5日（旧暦）を「津波防災の日」とすることが定められました。また、平成27年の国連総会において、この日を「世界津波の日」にすることが採択され、津波防災の新たな取り組みが始まりました。

※「稲むらの火」

安政南海地震津波での和歌山県における史実をもとに、海辺の村を大津波が襲った際、村の郷土が収穫したばかりの穂を積み上げた「稲むら」に火を放ち、暗闇の中で多くの村人を高台に導いて救ったという物語。戦前の国語教科書に掲載され、現在も津波防災教材として国内外で高く評価されています。

●緊急地震速報訓練に参加しましょう

津波から安全に避難するためには、まず地震の揺れでけがをしないことが大切です。緊急地震速報はそのために役に立つ情報ですが、訓練に参加し実際に体を動かす経験をしておくことで、とっさの時に安全行動を取りやすくなります。毎年11月5日の津波防災の日には、緊急地震速報の全国的な訓練を国の機関や地方公共団体のほか、学校、民間企業等や個人にも幅広く呼びかけて実施しています。もしもの時にご自分の命を守るため、積極的にご参加ください。

（※今年度の訓練はこちら <https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/kunren/kunren.html>）



シェイクアウト訓練

シェイクアウト訓練は地震の際の安全確保行動を身に着ける訓練です。緊急地震速報訓練でこの訓練が行われる自治体にお住いの場合は、積極的に参加してみましょう。

出典：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議 (<http://www.shakeout.jp/>)

●津波から身を守るために

危険な場所を確認しよう

津波に襲われる恐れのある場所をハザードマップや周辺地形から確認しておきましょう。



津波注意

避難場所を確認しよう

津波避難ビルや津波避難場所がどこにあるか、また避難経路などを周りの人と確認しておきましょう。



津波避難ビル・津波避難場所

避難訓練に参加しよう

実際に避難経路をたどってみるなど、積極的に訓練に参加しましょう。

